



"To acknowledge the duty that accompanies every right!"  
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

# THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA  
 1-5-6 TOSABORI, NISHI-KU,  
 OSAKA, JAPAN

July 2003 No.1  
 Chartered July 20, 1982

## 標語 YS SLOGANS (2003~2004)

クラブ会長 : 『個性を認めて共に前進』  
 国際会長 : "Be Agents of Change" 『変革の担い手となろう』  
 アジア会長 : "New thinking, New Action"  
 『新たな思考で、新たな行動を!』  
 西日本区理事 : 『未来に架ける橋』  
 中西部長 : 『分ち合い共に歩むワイズ』

## 主なクラブ役員 Officers

会長 : 谷川 俊一  
 副会長 : 松浦 孝次  
 // : 石津 雅人  
 書記 : 山田 孝彦 (主)  
 // : 栗山 佳三  
 会計 : 三浦 直之 (主)  
 // : 鎌田 史朗  
 ネット会長 : 松浦 和子  
 Y連絡職員 : 浜野 昌保

## 月間強調テーマ : 『 Kick-Off/EMC-C 』

㊦㊦㊦ 7月の聖句 ㊦㊦㊦

【 Biblical Message of July 】

㊦㊦㊦ 7月の例会 ㊦㊦㊦

【 July Club Meeting 】

また、彼らのためだけでなく、彼らの言葉によってわたしを信じる人々のためにも、お願いします。父よ、あなたがわたしの内におられ、わたしがあなたの内にいるように、すべての人を一つにしてください。彼らもわたしたちの内にいるようにしてください。そうすれば、世は、あなたがわたしをお遣わしになったことを、信じるようになります。あなたがくださった栄光を、わたしは彼らに与えました。わたしたちが一つであるように、彼らも一つになるためです。

(ヨハネによる福音書 17章20~22節)

㊦㊦㊦ Attention Please ㊦㊦㊦

1. わがクラブは、6月15日の西日本区大会で、栄誉ある理事表彰の優秀クラブ賞をはじめ、Yサ・ユース最優秀クラブ賞、地域奉仕最優秀クラブ賞、広報最優秀クラブ賞の4大賞のほか、BF目標達成賞、ホームページ掲載賞を受賞しました。おめでとうございます。詳細は第6面に記載。

2. 8月の第1例会は、8月6日(水)東洋ホテルで、なかのしま、西クラブとの3クラブ合同例会となります。プログラムを今検討中です。乞うご期待!!

♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪

\*7月お誕生日 Happy Birthday! 坂本メネット21日

\*7月例会当番 第3班 (藤原、石津、黒田、田中)

## ○ 7月 第1例会

日時: 2003年7月16日(水) 18:30~20:30  
 場所: 東洋ホテル3階

司会 石津 雅人君

1. 開会点鐘 松浦 孝次会長
2. ワイズソング 一同
3. ゲスト紹介 松浦 孝次会長
4. 聖句朗読 田中 稔二君
5. 今月のテーマ 松浦 孝次会長
6. 日々の糧・晩餐 一同
7. 会長交代式(司式) 杉浦 眞喜子・中西部長
8. 方針説明 杉浦 眞喜子・中西部長
9. 新年度会長の挨拶・方針説明 谷川俊一会長
10. 新年度予算の審議  
議長: 谷川 俊一会長 説明: 三浦 直之会計
11. 新年度の方針説明 (特に要コメントの場合)  
事業委員長
12. 第6回西日本区大会報告  
松浦 孝次前会長 坂本 千春メネット
13. お誕生日祝い (6月もあわせて)・ニコニコ献金  
一同
14. その他連絡・報告 各担当
15. 閉会点鐘 谷川 俊一会長

## ○ 7月 第2例会

日時: 2003年7月23日(水) 18:30~20:30  
 場所: 大阪YMCA土佐堀館9階

## 【 クラブ統計 Statistics 】 下欄( )は、うち広義会員を表わす

| 2003年6月     | 種別   | 第1例会 | 第2例会 | BFポイント           | ニコニコ献金                      |
|-------------|------|------|------|------------------|-----------------------------|
| 在籍会員 22(1)名 | メン   | 11名  | 8名   | 6月: 切手 230 gr.   | 6月: 36,000円                 |
| 例会出席 12名    | メネット | 5名   | 名    | 現金 2,000円        | 在日ブラジルの子どもたちのサポートとして貝志さんに献金 |
| うちメークアップ 1名 | ビジター | 名    | 名    | (02年7月~03年6月の)   | (02年7月~03年6月の)              |
| 出席率 57.1%   | ゲスト  | 16名  | 名    | 累計: 切手 7,931 gr. | 累計: 211,600円                |
|             | 合計   | 32名  | 8名   | 現金 37,500円       | ( 除く、クリスマス献金、オークション、記念献金 )  |

この月、新しい年度を迎えました。新役員のもとクラブが新しい発足をやるこの時に当たり、全世界のYMCAの目指す「すべての人が一つとなる That they all may be one」の理想を考えてみましょう。

今月の聖句は、イエス・キリストが十字架の苦難を受けられる直前の祈りの一部ですが、YMCAの正章(マーク)の中心に画かれている聖句です。

この場合の「一つとなる」とは人々の心が一色に塗りつぶされた全体主義的思想ではなく、お互いの個性や考え方の違いを認め合いつつ、なお一致を見出そうという民主主義の基本的思想に立脚した「多様性の一致」を意味しております。

今日、イスラエルとパレスチナの対立を始め、世界では至るところで争いが起こっています。平和な世界はコートピアに過ぎないとさえ思われる現実です。しかし、国連その他はさて置いて、私たちに身近な存在としてのYMCAやそのパートナーである

Ys メンズクラブへの神の至上命令は、「平和を創り出す」ための働きです。その働きは小さくても、静かでも、国境を越え、民族を超えて人と人の心をつなぎ、相互理解を社会に広げてゆく運動であるべきと思います。

(聖句選、コメント：黒田徹之)

## 6月 第1例会

【 Report of the June Club Meeting】

( 6月7日(水) 14:00~17:00

大阪YMCA土佐堀館3階302号室 )

フリテン：松浦 孝次

○ 6月例会は、デファレンスディ行事として、土曜の午後 Y MCA会館で、照本 祥敬氏(中京大学教授)、具志アンデルソン 飛雄馬氏(日本語指導員)をシンポジストに、そしてお誘いした他のワイスクラブ、YMCA関係者、地域でのボランティア、友人・知人の方々をゲストに迎え、総勢32名が出席して開催した。照本さんは、昨年2月例会で、アメリカンの子どもたちについての話をいただいている(琉球大助教授のとき)。

○ 藤原正巳メンガ司会、畠中彬メンガ聖句を朗読、中村茂高副会長が「デファレンスディ」について説明を行った。

○ シンポジウムは、まず照本 祥敬さんから、「子どもの権利条約とマイノリティーの子どもたち」をテーマとして、わが国における現状についての話をお聴きした。

子どもの権利条約は '89年に国連総会で採択されたもので、子どもまたは親の人種・皮膚の色・言語・出生・その他の理由による差別の禁止、子どものアイデンティティや言語を尊重した教育の保証、少数者の子どもの権利尊重などが規定されている。日本政府から第1回報告が「国連・子どもの権利委員会」に提出され、それに対して同委員会から、多くの点についての懸念と勧告を含む所見が出ている。

照本さんは、アメリカンの子どもたち、外国人の



(照本祥敬さんからマイノリティーの子どもたちの現状を聞く)

子どもたちや、在日韓国・朝鮮の子どもたちのおかれている差別的状況をかねてから指摘されている。「われわれの社会を豊かにするには、マイノリティーの権利を保護するという観点をわすれてはならない」という照本さんの言葉は、説得力があった。

○ 具志アンデルソン飛雄馬さんは、まだ25歳の若さで重鎮の美青年。1989年10歳のとき父母に連れられてブラジルから来日した日系3世。いま三重・松阪に住む。

氏の、来日後これまでのつらく厳しい体験をお聴きした。外国人ということで8か月間小学校に入れなかったこと、入学できたものの日本語がわからないため猛烈ないじめにあったこと、そして中学校でもいじめは続く。「おまえはわれわれと違う」という態度。ついに耐えられず不登校、居る世界がなく暴走族の一人となり、そのうちに250人のリーダーになった。

父の若くしての逝去、ある人との出会いがあって、目覚め改心、暴走族グループを解散し、多くのメンバーを更生させた。今は、みずからの体験を学校、行政や社会で語り、いじめに遭っている子どもたちの相談にのり、また小・中・高校で在日の子どもたちに日本語を教える仕事に情熱的に取りこんでおられる。

具志さんの波乱に富む人生は、実話だけに衝撃的であった。日本人がもつ「比べる、みんなと違う、おかしい」の意識が、差別・排除につながっていることを、きびしく指摘された思いであった。

当日のニコニコ献金 36,000 円は、具志さんの事業に役立てていただくことにした。

○ そして待望の人、永島 寧さんの入会式を、ゲストの皆さんも注視するなかで、厳かにかつなごやかにとり行うことができた。列席の山本豊・中西部長から、記念品としてネクタイの贈呈があった。氏のご入会をクラブメンバー一同心から歓迎いたします。



(具志アンデルソンさんから衝撃的な実話を聞く)

## ≡≡≡ Club Activities (June, 2003) ≡≡≡

A total 32 Y's men, Y's menettes, Y's men guests from another clubs and many other guests were in attendance at the June meeting, which was named the "Difference Day Gathering" to promote our activities to the prospective candidates.

We had two distinguished guest speakers, Mr. HIROTAKA TERUMOTO, professor of the Chukyo University and Mr. ANDERSON HYUJUMA GUSHI, instructor of the Japanese language for the Japanese-Brazilian children living in the Mie Prefecture area.

Mr. TERUMOTO spoke about the Treaty on the Human Right of the Children, which was adopted in 1989 at the UN general assembly, and the current situation of performing various duties under the treaty by the Japanese Government. He invited our attention to the fact that many discriminatory conducts against minority children exist here, for which the UN committee in charge expressed serious concerns. He also stressed that healthy society could not be built until the rights of minority were honoured.

We were so perplexed with Mr. Gushi's speech. He was the third generation of the Japanese-Brazilian coming to Japan in 1989 at the age of 10 with his family. His bitter experiences at the Japanese schools were beyond our imagination. He was continuously bullied at the schools by other students because of insufficiency of his Japanese language and finally became a leader of the big evil company after absenting from the schools for a long time.

Fortunately, he could start life anew after the sudden death of his father and a meeting with an influential person. At present, he works very hard as an instructor of the Japanese language for the Japanese-Brazilian children as well as a consultant for those who we are facing the same problems as he did. We were deeply impressed with his speech and felt that what professor TERUMOTO said above was a final answer to sort out these problems.

Following the speeches, the induction ceremony for MR. YASUSHI NAGASHIMA was held in the presence of Mr. YUTAKA YAMAMOTO, governor of the mid-west region and all other attendants. He was the first new member joined in our club in this term and we all welcome NAGASHIMA-san to the Osaka Centennial Club!

### 5月第2例会

【 Report of the May Club Meeting】

( 5月28日(水) 18:30~20:30 大阪YMCA )

書記：山田 孝彦

#### 1. ワイズの集会について

4/26中西部評議会が開催され、山田EMC主査、松浦会長が出席した(茨本市)。ホームページ立上げのクラブに支援金 〆

〆 1万円が支給されることなどが決まった。

#### 2. 土佐堀YMCA 関連 (第2回運営委員会)

松浦運営委員から、02年度クリスマス献金の使途について国際協力、地域奉仕に資する事業に充てられるとの報告があった。

#### 3. 6月例会プログラム

第1例会「デファレンステイ」、第2例会について決定。

#### 4. 7月例会プログラム

第1例会は、会長交代式を杉浦眞喜子中西部長の司式のもとに行う。第6回西日本区大会の報告をあわせて行う。なお、新年度の各事業委員長からの方針説明は、時間の関係上例会では行わず、プリテン7月号に掲載する。

#### 5. 8月例会プログラム

8月第1例会は、他クラブとの「合同例会」とする。

#### 6. 新入会員入会式

6月第1例会で、永島 寧氏の入会式を行う。



(永島 寧さんを入会式で迎え入れる 大歓迎!!)

### 6月第2例会

【 Report of the June Club Meeting】

( 6月18日(水) 18:30~20:30 大阪YMCA )

書記：山田 孝彦

#### 1. 7月例会プログラム

当月号第1面記載のとおり、杉浦・中西部長の司式による会長交代式と、杉浦部長および谷川・新会長の所信表明が中心になる。各事業委員長からの説明は、特にコメントを要する場合のみ。

#### 2. 8月例会プログラム

8月例会は、8/6(水) なかのしま、西クラブとの「合同納涼例会」とし、プログラムは両クラブの提案に委ねる。

#### 3. 新会長の所信表明

谷川・新会長から所信表明があった。意見交換をした結果、次期は、例会での会員相互の交流を図る(会場の机の配置も工夫)、野外での親睦行事の開催などを行う。

#### 4. 新年度予算案

三浦会計からの提案を検討した。

#### 5. 退会の申し出

湯浅メンは遠隔地の仕事に就く、貴多野メンは昼夜にまたがる大学の職務に就くという事情から、例会も出席できないことから退会の申出があり、まことに残念ながらやむをえないこととして承認した。

#### 6. その他

①坂本メネットのメネット主査就任に伴うクラブとしてのバックアップ、②ボランティア保険の加入(必要性は個別判断か)、③ヒラナカご一家の来日対応(7/7~9)、④「関西いのちの電話」創立30周年記念募金への協力—について協議した。

**2003~2004年度  
会長・各委員長の運営方針**

◆ クラブの運営について (会長 谷川 俊一)

2003~2004年度のセンチニアルワイズメンズクラブの会長としての働きを与えられました。メンバー皆様からの支えをお願いいたします。

今期のモットーを「個性を認めて共に前進」としました。

年齢・経歴・価値判断等を異にするメンバー一人ひとりが、持っている個性を認め合い、またそれを十分に生かしてクラブの足腰を強くし、明日に向かって前進するクラブとして活動を共に進めて参りたいと考えています。

ワイズメンズクラブは、メンバーにとって70パーセントの牽引活動と30パーセントの楽しい活動を実施していく団体であると日頃から聞いてきました。この教えられたワイズの活動を常に意識し、原点であるYMCAの活動を支える団体としてのワイズの役割を重視してメンバー一人ひとりと共にその責任を果たしてまいります。また、センチニアルクラブの出発の原点を心に留めながら、今期の活動を皆様のご意見を基に進めてまいります。

センチニアルの明日に向けて、1人でも2人でも個性が豊かなメンバーを増やし、特徴のあるクラブ運営を目指していきたくと思っています。

また、以前の例会で私達の年齢相応の健康や生活に関して説話を聞く機会がありました。メンバーの年齢や生活歴から健康が如何に大切に考えていくべきか、今こそ実践していく時であろう考えます。

私は、一人ひとりのメンバーが自分の力を出し、自分が率先して参加する健康づくりの場を通して、一人ひとりが健康をより高めるための何かのイベントをセンチニアルクラブから発信したいと考えています。

前会長の松浦さんは、本当に熱心に奉仕されました。センチニアルクラブに新しい風を吹き込まれました。松浦さんに感謝するとともに、引き続き前会長としてのご経験をもって支えを特にお願いたします。

◆ 交流 IBC/DBC/YEEP/STEP

(委員長: 藤原 正君)

1. 基本方針

当クラブ実態より、委員会運営の主体をIBCに置きIBCを通じてワイズ運動の楽しさを再認識できるように努める

- ① 海外フザーククラブ実態について認識を深める
- ② クラブ単位の交流プログラムの実施対策を講ずる
- ③ 国内IBC継続の必要性について検討する
- ④ 海外ワイズニュースの発信活動を強化する

2. 実施計画

① 海外フザーククラブ実態把握

毎月おプリテに付随「AlphaNews」「Hello 香港」と題してハワイ・ヌナ 香港・ホーチン両クラブより適宜採集された両クラブの人の動きや運営状況等を把握すると共に、両クラブ実態に基づきクラブ員の理解を深める。

② 交流プログラムの検討

2~3年先の実現を目指し、クラブ単位の交流の可能性、交流方法、および具体的な時期などにつき検討を行う。

③ 国内IBC問題

当クラブにとって国内IBCが本当に必要か否かにつき、クラブ員全員で検討を行う。

④ 海外ニュースの発信活動

海外情報に知悉している当クラブ関係者のご協力を得て、可能な限り最新の海外ニュースを例会、またはプリテンにて提供する。

◆ Yサ・ユース (委員長: 新保 正之君)

昨年度と同じ内容でいきます。

1. 方針

- ① YMCAの使命・運動基本方針の理解
- ② 大阪YMCAの国際・社会奉仕プログラムの継続・支援
- ③ 大阪YMCAと当クラブとの連携強化
- ④ ASF事業・価値への支援促進
- ⑤ ユース事業・価値への支援促進

2. 計画

- ① YMCAとの定期連絡の継続による相互理解促進
- ② チャリティーランに協力
- ③ 諸種のキャンペーンに協力
- ④ その他YMCA事業・価値への支援
- ⑤ 西日本区ASF事業・価値への支援
- ⑥ 西日本区ユース事業・価値への支援

3. 予算 250000円

(チャリティーラン補助100000円を含む)

◆ ファンド (BF/EF/JWF)

(委員長: 栗山 佳三君)

1. 方針

- ① 一人あたり使用済み切手・現金ポイント合計 3000ポイントとを目標とし、全員達成を目指す。
- ② EF・JWF基金への拠出を推奨する。

2. 計画

- ① BF 強調月間に例会で切手整理をし、BFの意義を考える。
- ② 未整理切手を例会場に常備し、随時メンバーに持ち帰りいただく。
- ③ EF・JWFへの認識を深め、拠出の方法、様式等をアピールする。

◆ 地産地消 CS/TOF (委員長: 中村 茂喜君)

1. 方針

- ① 「沖縄アメリカンスクール」 「ミャンマーチャイルドケア・プロジェクト」の支援
- ② 「関西の方言電話」の支援
- ③ 「年賀当選切手シート」クラブ目標の達成 (14シートまたは@1800円×会員数)
- ④ 「タイム・オブ・ファースト」クラブ目標の達成 (@2700円×会員数) (次ページへ)

(前ページから)

## 2. 予算

- ① 「沖縄アメリカンスクール」 「ミャンマーチャイルドケア・プロジェクト」 支援 200000円
  - ・「沖縄アメリカンスクール」 (100000円)
  - ・「ミャンマー・プロジェクト」 (100000円)
- ② 「関西のちの電話」 支援 65000円
  - ・雑費 (10000円)
  - ・チャリティーコンサート雑広告 (10000円)
  - ・同チケット補助 (25000円)
  - ・ハザード保険 (10000円)
  - ・夏季/年末寄金 (10000円)

### ◆ ネット会 (会長: 松浦 和子君)

#### 1. 方針

- ① わがクラブおよびワイズメンの運営に協力する。また YMCA 事業に専任する
- ② ネット間の親睦を深め、絆を強くする。また活動ネットワークが増えるよう努力する
- ③ 坂本ネットが、中西部ネット主席を務めるので、積極的に支援する

#### 2. 計画

- ① 「大阪青年」 発送専任、 「関西のちの電話」 ハザード発送専任
  - ② 例会をはじめとするクラブ行事や、中西部行事への出席と協力
  - ③ YMCAの行事(出展コーナー、チャリティーなど) に協力
  - ④ ネット基金のための物販販売
3. 予算 30000円

### ◆ EMC (委員長: 富中 彬君)

EMC活動の基本は、新会員の数を増やすことだけでなく、現会員の減少を防ぐことでもある。そのためには会員にとって魅力ある活動内容にすることである。会員活動の中心は、社会貢献活動や会員の親睦交流活動、学習啓発活動等である。

これまでのセンチニアルクラブの活動は、アメリカンズの招待キャンプに代表される社会貢献活動や、例会のゲストスピーカーによる学習啓発活動等は充実していたが、遊びを取り入れた会員の親睦交流活動は必ずしも活発であったとはいえない。

今期は、例会として、また例会以外の事業として、レクリエーション的な親睦交流活動を以前より活発にし、現会員の活性化と新会員の増強をめざしたい。具体的には、季節ごとのウォークやハイキング、ワイズメン歌声喫茶等で、広く会員のアイデアを募りながら楽しいプログラムを実施していきたい。

### ◆ 広報 (委員長: 石津 雅人君)

昨年度は、ホームページを立ち上げた。この機会に、本年度も一層対外広報力を高めたいと考えます。

#### ① クラブのホームページの活用

ホームページを通して多くの人に、ワイズのこと、クラブのことを知ってもらおう。

#### ② クラブの事業、催物などの対外広報に努める。

## 2003/2004年度のクラブ役員 (Club Officers for 2003/2004)

|                              |                          |
|------------------------------|--------------------------|
| 会長 President                 | 谷川 俊一 Syunichi Tanigawa  |
| 副会長 V. President             | 松浦 孝次 Koji Matsuura      |
|                              | 石津 雅人 Masato Ishizu      |
| 書記 Secretary *               | 山田 孝彦 Takahiko Yamada    |
|                              | 栗山 佳三 Keizo Kuriyama     |
| 会計 Treasurer *               | 三浦 直之 Naoyuki Miura      |
|                              | 鎌田 史朗 Sirou Kamada       |
| メネット会長 Y's menette President | 松浦 和子 Kazuko Matsuura    |
| ブリテン Bulletin *              | 松浦 孝次 Koji Matsuura      |
|                              | 石津 雅人 Masato Ishizu      |
| EMC EMC                      | 富中 彬 Akira Hatakenaka    |
| 広報 PR *                      | 石津 雅人 Masato Ishizu      |
| 交流 IC/DBC YEEP/STEP          |                          |
|                              | * 藤原 正巳 Masami Fujiwara  |
| ファンド BF/EF/JMF               |                          |
|                              | * 栗山 佳三 Keizo Kuriyama   |
|                              | 三浦 直之 Naoyuki Miura      |
| 地域奉仕 CS/TOF                  | 中村 茂高 Shigetaka Nakamu   |
| Yサ・ユース YMCA Service ASF/YA   |                          |
|                              | 新保 正之 Masayuki Sinnbo    |
| 聖句 Biblical-Message          |                          |
|                              | 黒田 徹之 Yoshiyuki Kuroda   |
| 連絡主事 Related-Secretary       |                          |
|                              | 浜野 昌保 Masayasu Hamano    |
| 会計監査 Auditor                 | 福永 嘉彦 Yoshiniko Fukunaga |
|                              | ( *は主担当 )                |



( 西日本区大会が終わって、なかのしまクラブのメンバーと一緒に受賞を喜ぶ )

6月19~21日大阪YMCA土佐堀館での  
ロビー展に奉仕 メネット会 松浦和子

アジアの経済的自立を支援するために、アジアの女性人たちが作った手作り民芸品の販売(ロビーで)に協力しました。中村幸枝、隅田夏子、坂本千春、松浦孝次のみなさんです。なお、「ボランティア活動写真展」、鈴木誠也さんの講演会も行われました。

## 受賞 Congratulations!!

第6回西日本区大会で、名誉ある理事表彰の「優秀クラブ賞」をはじめ、3部門の「最優秀クラブ賞」ほかをいただき、わがクラブとして大変光栄です。ここ2年ほど前からクラブを初め取り組んだ、アメリカン支援中心とする「多文化共生社会の創造」に努める活動を評価いただいたものと思います。中村前会長をはじめクラブメンバー全員の働きがあってのことです。心から感謝いたします。

こうしたクラブワークを通じて、YMCAを支援し、またYMCAと協働して地域社会・国際社会に貢献することにつながったことと確信いたします。  
(会長 松浦 孝次)

### われらのセンテニアル受賞 — 万歳 万歳 !!

鈴木 謙介

西日本区大会はセンテニアルにとって歴史的な大会でした。松浦会長は一体何回表彰状を受取られましたか？ 会員席から私の拍手と、手を上げた姿を壇上から見てくれましたか？ 会員のみなさんの奮闘が如実にあらわれました。

われらの最大の喜び、この感激と栄誉を、どうか次年度の出発点としてください。万歳！万歳！

### 西日本区大会に参加して

坂本 千春メネット(今期中西部メネット主査)

6月14日、わたしは彦根で行われた西日本区大会に参加しました。今回の私の主たる目的は、メネットアワーにありました。その場において、たくさんのメネットさんたちと交流をはかることができました。とりわけ、今期ともに事業主査として、活動していく他の部のメネットさんたちとの活動についての意見交換は、たいへん有意義だったと思っています。今期中西部のメネットが取り組む国内プロジェクトの一つである、「絵本づくり大作戦」という、アフガニスタンの子供たちへ、アフガンの伝承民話絵本を贈るという計画をぜひとも成功させるべく、ガンパロウと大いに刺激を受けた一日でした。



(西日本区大会に参加したメネットさんたち)

## 受賞

1. 理事表彰 = 優秀クラブ賞
2. Yサ最優秀クラブ賞、CS最優秀クラブ賞、広報事業最優秀クラブ賞
3. BF目標達成賞、ホームページ開設賞



(壇上で日井理事から、クラブを代表し表彰を受けた松浦会長)

### 西日本区大会を運営して

栗山 佳三・西日本区EMC主任

6月14・15日、ひこね市文化プラザで第6回西日本区大会が開催され、当クラブから鈴木謙介君他10名が参加しました。

初日の午前中に開かれた年次代議員会では、次期西日本区役員、定款・施工細則の改正などの重要案件が承認決議されました。

大会では、バナーセレモニーのあと、彦根市長、アジアエリア会長他の祝辞に続いて、部長、主任の報告があり、第2部のYsフォーラムでは100人の子供達による「あなたが主役！語ろう未来のワイス」が開かれました。

この後会場を彦根プリンスホテルに移してのパーティでは、他クラブを交えて大いに語り合いました。

大会2日目の事業表彰では、わがクラブのアメリアン支援力が評価され、理事表彰・優秀クラブ賞ほか3分野の最優秀クラブ賞を受賞、そのたびに松浦会長が壇上で表彰を受け、盛り上がりのなか大会は終了しました。

私も西日本区EMC主任の任務を無事終えることができました。ご支援を感謝します。



(大会終了後、バナーと表彰状を手にしたわがクラブのメンバー。この他に 栗山メン、谷川有美子・坂本メネットが出席した)

## お知らせ

1. 第6回西日本区大会は 終了(6月14~15日)  
第7回西日本区大会は、04年6月12~13日 加賀市文化会館と山代温泉で開催されます。

### 2. メネット引継ぎ会

7月5日(木) 14:00~16:00 心斎橋・長崎堂3階ホール(06-6211-0551) ケーキとお茶の会  
会費1,000円 大阪西クラブ 熊倉主査まで

### 3. 第6回中西部会

10月4日(土) 14:00~18:00 六甲山YMCA  
“あなたは、あなたのクラブは「誰」と「何」を分かち合いますか? 「誰」と共に歩みますか? 六甲の自然の中で語り合いませんか?”  
ホスト:大阪なかのしまクラブ 会費3,000円

### 4. ワイズメンズクラブ国際協会・第20回アジア大会

9月26日(金)~28日(日)に変更 フィリピンで開催。

### 5. 第9回 土佐堀YMCA・環境教育セミナー

7月25日(金) 19:00~20:30土佐堀YMCA会館  
「安全な水・おいしい水」一水道水は安全か? など  
講師:藤田 正憲・大阪大学大学院工学研究科教授(環境工学)  
お申し込み・お問い合わせ 土佐堀YMCA

### 6. 関西のちの電話 チャリティコンサート

8月1日(金) 開演19:00 いすみホール  
山崎陽子の世界「メルヘンファンタジー」前売2,000円  
当日3,000円

### 7. YMCA 関係行事の日程です

- ・大阪YMCA チャリティラン 11月9日(日)
- ・大阪YMCA 祈禱週 11月10日(月)~
- ・土佐堀YMCA カーニバル 11月3日(祝・月)
- ・土佐堀YMCA クリスマスのついで 12月6日(土)



( 新入会の永島さん、山本中西部長とがっちり握手 )

## 5月BF ニュース

【 Report of the Brotherhood Fund in May 】  
BF委員長: 栗山 佳三

◇現金提供者: 栗山、山田、谷川 廣君

◇切手提供者: 畠中、山田、田中、谷川 廣、栗山、隅田、三浦、福永君 \*今月の殊勲賞 畠中君830gr、山田君300gr

## 6月BF ニュース

【 Report of the Brotherhood Fund in June 】  
BF委員長: 栗山 佳三

◇現金提供者: 栗山、山田君

◇切手提供者: 山田、松浦、鈴木、栗山、隅田君  
\*今月の殊勲賞 山田君150gr

## 【クラブ統計 Statistics】

2003年6月号プリンテンでの「5月の未記帳分のみ」

| 2003年5月     | 種別   | 第2例会 | BFポイント         |
|-------------|------|------|----------------|
| 在籍会員 22(1)名 | メ ン  | 7名   | 5月:切手 1,420gr. |
| 例会出席 13名    | メネット | 名    | 現金 3,000円      |
| うちメークアップ 1名 | ビジター | 名    | 累計:切手 7,701gr. |
|             | ゲスト  | 名    | 現金 35,500円     |
| 出席率 61.9%   | 合計   | 7名   |                |

## YMCA ニュース

○ 大阪YMCAでは、7月18日を「安全の日」と定め、生命の大切さと、自分自身の安全と他者の安全を考える機会として「安全キャンペーン」を実施しています。キャンペーンへのご協力をお願いいたします。

### ★第123回大阪YMCA早天祈禱会

日 時: 7月18日(金) 7:30~8:30  
場 所: 大阪YMCA会館10階チャペル  
証 し: 濱添吉生氏(枚方YMCA所長)  
問合せ: 大阪YMCA TEL06(6441)0894

連絡職員: 浜野 昌保

### ★大阪南YMCAチャリティーコンサート

日 時: 7月6日(日) 午後2時~3時30分  
場 所: 大阪女学院 ハール・チャペル  
問合せ: 大阪南YMCA TEL06(6779)8362  
\*この収益金は知的障がい児のキャンプの支援に使わせていただきます。

### ★障がい者(児) ボーリング大会ボランティア募集

日 時: 7月20日(日) 午前10時~12時  
場 所: ROUND1豊中店  
内 容: 障がい者のボーリングプレイ時の補助  
問合せ: 大阪北YMCA TEL06(6867)4744



## ゲストからのメッセージ

○少数者である故からくる「差別」はこれからもなくならないと思う。お二人の先生の話にショックを受けました。国が変わらないと何も変わらないし、しかし変わらねばならない。

(大阪西クラブ 井上 公男)

○何年たってもマイノリティーのあり方は同じのようですね。少しずつでも良い方向に変えることが必要と思いました。今日はいろいろとお話しを聞くことができありがとうございます。

(奈良ファミリー&フレンド 内海 眞子)

○沢山の気づきをいただきありがとうございました。感銘深いだけでなく、動く方向が示される貴重な時間になりました。

(なかのしまクラブ 江見 淑子)

○めったに聞くことのできない話しありがとうございました。今なさっているお仕事はとても大切で、できる限り続けていただきたいものです。日本の全体の教育のやり方は、今のままであれば外国人の子供、その他の minority グループの子供たちの将来は暗いと思います。がんばってください。

(なかのしまクラブ オードリ・ギルク)

○本日はありがとうございました。(具志アンデルソン)

○子供たちが少しでも差別を受けない世の中にしたいものです。

(東京目黒クラブ 坂本 哲郎)

○同じ国民であっても子供の権利が保障されないこと、行政そのものの対応ができていないことなど人権について学ばせていただきました。具志アンデルソンさんのお話しを聞き感動しました。出会った人によって人は変わる、子供の教育の大切さ大人役割は何か考えることがたくさんありました。ありがとうございました。

(なかのしまクラブ 松下 広子)

○2030年には外国人労働者が人口の3割になると予想されています。具志さんのお話しから今後、社会的な大きな問題となるでしょう。今、何とかしなければと強く思われていることを重く感じました。

(大阪河内クラブ 横田 憲子)

○照本先生、具志先生ありがとうございました。ご活躍を心より祈ります。私の日常生活の中であまり意識に上がらない分野でした。しみ入るように体の中に伝わっていく知識と感動、夕方ふりに私も立ち向かっていくことがつかめたような気持ちです。高齢者支援の業務についている私ではありますが、次世代を担う子供たちの問題にも目を向けていきたいと思えます。

(洲上 澄子)

○20年前に訪問したサンパウロ・イグアス・マナウスのことが思い出されました。ノーマラトセッション(共生社会)の考えの難しさがわかりました。国際化は互いのアイデンティティーを認める事と判っていますが、理解のための教育を実践する方策が問われます。いい話が聞け感謝。

(大阪西クラブ 山本 豊)

## 会員からのメッセージ

○子供たちが差別意識を持つのは、日本の閉鎖的な社会が作り上げているのではないかと思います。「国際化」という言葉が空回りしている現在の日本ではないかと思います。この言葉が空回りしない世の中になってほしいものです。

(石津 雅人)

○本日のお話しを聞いて、高校生の息子のいる私にとっては身につまされるものがありました。日本の中で常にマジョリティーの方にいた私や私の家族は、マイノリティーになったときの自分たちをイメージすることすらなく、反省をするというより自分の心の狭さに恥ずかしい思っています。

(坂本 千寿)

○今日はディファレンスデーと、よく言った。スピーカーお2人面白い話だった。特に具志さんの話はよかった。(鈴木 謙介)

○今日のディファレンスデーは非常に心にしみる会でした。照本先生の講義とともに、具志先生にはますますご活躍いただき、子供たちがより楽しく学校生活を送れる事を祈ります。

(隅田 恵子)

○好顔の美少年をこれほどまで苦しめた日本、そして差別。子供の心というものを、教育というものを、また改めて考えてみたいですね。具志さん立派なお仕事です。どうぞ体をお気をツケになって癒してください。永嶋さん入会おめでとう。

(中村 幸尚)

○照本さん、具志さんのお話しを聞き、多文化共生社会のよりよい社会の実現の必要性を感じました。

(中村 茂尚)

○感動大きい、素晴らしい例会でした。大阪YMCAの使命「共に生きる社会の実現」をぜひとも達成すべく努力を続けていきたいと思います。

(浜野 昌保)

○初めて現実を知らされ全く驚いています。大いに考えさせられました。できる限り支援すべきことを痛感しました。

(福永 嘉彦・滋子)

○今日のディファレンスデーでは、具志アンデルソンさんのはなしは最高に強烈でした。なぜ日本人は子供のレベルでもあれほどひどく陰湿ないじめをするのでしょうか？ 国民レベルでの国際性の欠如、異質なものへの無理解などさまざまな理由があるのだと思いますが、誠に残念な限りです。具志さんの活動がますます実り多いものになることを祈るとともに、我々一人一人も身近な差別の除去に少しでも努めなければと痛感しました。

(藤原 正巳)

○今日は永嶋さんの入会式を持つことができて最高にうれしい日でした。また照本先生から日本における子どもの権利保護の実情をお聴きし、各論で具志さんから生々しく過酷な差別の実態を聞き衝撃を覚えました。

(松浦 孝次)

○TVで見るドラマはある程度オーバーな筋書きだと思って見ておりました。具志さんの体験から、それよりももっと厳しい残酷さで、しかも子供たちによって行われていることに衝撃を受けました。具志さんの今後のご活躍によってこの子供たちの苦しみがい少しでも軽減されるよう念じております。

(山田 孝彦)

○差別という厳しい現実を認識させられ、なぜ差別が起きるのか考えさせられました。教育の重要性を再認識しました。具志先生頑張ってください。

(三浦 直之)



(具志さんの話真剣に耳を傾ける人たち)

## 《編集後記》

- 新年度です。新会長、事業委員長の方針をお読みください。
- 新年度も引き続き、英文報告の作成は藤原正巳メン、監修を谷川魔メン、ニコニコ・Mの入力を石津雅人メンにお願いをします。(松浦 孝次)